



第2回まち歩きは、生憎午前中から雨が降る中での開催となりましたが、予定通りの皆様が雨具類を持参されて元気よく参加されました。スタート地点は、JR錦糸町駅。普段はこの地に縁がないという参加者も多く、駅前ロータリーにある明大ゆかりの記念碑(OBの伊藤左千夫の旧居跡碑)の存在を始めて知ったという声が多く聞かれ貴重なまち歩きになりました。



小林一郎様のレジュメ

新旧14名出席

東京副都心のランドマークを訪ねて

まず駅の南側から散策。錦糸町駅の駅ビルは、今の時代では当り前の駅ビルのように思えますが、その建設に関して民間資本を得て「民衆駅」としてスタートした経緯や西の有楽町、東の錦糸町と言われた東京楽天地の歴史、当初の繁華街の一端を担った白木屋・江東デパート跡地(ポストモダン建築)ビルや近代建築への憧れのニュー錦糸町(住宅)ビル、OI?ビルの箇所が旧都電金絞り車庫跡地だった事など初めて知ることができました。



そして、駅の北側へ移動。まず地域産業として有名な江戸切り子館を見学して、江戸城に対して横に川が流れているということで名がついた大横川親水公園、元々は、安田銀行蓄財銀行の建物が洋服店に変貌した状況や水上公園を歩き、いよいよ昨年オープンした東京スカイツリーの「東京ソラマチ」を自由行動で楽しみました。今までに余り報道されていないジオラマの大きな展示物や地元墨田区の地元産業の「すみだまち処」等も行き有意義でした。



次回は、2013年秋頃開催予定

まち歩きのお疲れ様会では、今回のまち歩きに合わせて勤務先で新聞記事の歴史情報をプリントアウトして持参してくれたOBがいて、改めて錦糸町からスカイツリー周辺の歴史の深さを知ることができました。貴重な資料を見ながら、このまち歩きの企画をMMCの業績にして発表する等の今後のMMCのあり方?の提案を頂く事もありました。更に、時間が経過して、過去の仕事と世界の国々との関わりや世界と日本人感、日本のアジアの取り組み等数知れない程の国際感覚の話題で当初予定していた終了時刻をはるかにオーバーするほど楽しく、かつ有意義な会になりました。